

いすみ鉄道支部 結成



動労千葉

1988. 1. 26

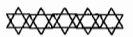
No. 2745

国鉄千葉動力車労働組合

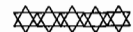
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇四七二二二七二〇七

強制出向粉碎！ 地域への運動拡大の

拠点うちたてる



動労千葉いすみ鉄道支部結成大会は、一月二十二日、十七時三〇分から、大多喜町に近い勝浦市吉田食堂において盛大に開催された。大会は、結成準備委員の沢氏の司会で始まり、結成準備委員会を代表して、五十嵐準備委員長は次のように述べた。



五十嵐結成準備委員長があいさつ

「JR現場で苦闘する仲間と共に、いすみ鉄道においても、動労千葉の旗を守って闘うため、早期結成をめざして今日までOBを含め討論してきました。まだ、OB会員の結成までは至らなかったが、出向組合員全員を結集して、ここに結成大会を迎える事ができた。皆さんの協力で感謝する。出向条件については、組合員の団結した闘いにより、団体交渉の中で明らかにされてきたが、いすみ鉄道における、日常の労働条件については、まだ不明な点が多い。早急に明らかにさせるため努力していく。又、直ちに地区労に加盟し、勝浦支部と連携いして地域における労働運動の発展につとめたい」

支部結成は、出向攻撃に
対する最大の反撃

つづいて、本部を代表して水野副委員長は、木原線廃止反対の闘いと、いすみ鉄道出向問題のとりくみの経過について述べると共に、「いすみ鉄道支部の結成は、JR当局の出向による組織破壊攻撃に対する最大の反撃であると共に、地域への運動の拡大段階的労働運動の拠点として大きな役割を果して欲しい。又、日常の労働条件の改善、安心して働ける職場づくりのため、全員が団結してがんばって欲しい」と激励した。

強制配転者からも激励のあいさつ
「南総地区協議会を結成して闘う」

勝浦支部を代表して鶴岡支部長のあいさつにつづいて、昨年まで勝浦支部の仲間として共にがんばってきた、照岡、吉野（六）氏は「我々は南総地区の営業系統へ配転されたが、動労千葉の旗を守ってがんばっている。われわれも近々に、いすみ鉄道支部結成につづいて、営業系統南総地区の仲間と共に南総地区協議会を旗上げする。組織人もいすみ支部より多く結集しているので、いすみ支部に敗けないようがんばる。今後、お互い交流していきたい」と激励の交言葉を述べた。

支部体制を確立、闘う方針を確認

役員選出に移り、結成準備委員であった三氏をそれぞれ三役に選出した後、新しく支部長に就任した五十嵐氏から運動方針並びに規約について、君塚書記長から予算案の提起をうけ、満場一致これを承認し、つづいて、結成懇談会に移行した。懇談会は、極めてなごやかな雰囲気の中でおこなわれ、二十一時支部長の音頭で団結ガンパローを三唱し、終了した。

動労千葉いすみ鉄道支部役員

- 支部長 五十嵐 浩 吉
- 副支部長 沢 晤 朗
- 書記長 君塚 作 治

組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！